

研究の概要

研究主題

対話で思考を深め合う授業の展開
～義務教育学校に向けた探求型授業を目指して～

(1) 主題設定の理由

<p>《昨年度の成果》</p> <p>(1)対話を通して思考を深める授業を教師が心掛けることで、子どもたちの意欲が向上し、意欲的に発表する子どもが増えた。また、わけや理由も明確にして発表できる子どもが増えてきた。</p> <p>(2)グループの構成人数について、様々な人数を試行することで、話し合いの目的、指導のしやすさ、話し合いの内容などから、3～4人を基本に実践することを確認できた。</p> <p>(3)対話を想定した指導案にすることで、主発問と補助発問の関係が明らかになり、事前検討や事後の検証がしやすいことが分かった。</p>	<p>《昨年度の課題》</p> <p>(1)グループでの話し合い活動での学習リーダーの役割、回数や時間、場の設定の在り方について検討していく必要がある。</p> <p>(2)教師の授業力向上につながる授業研究会の設定の仕方を検討していく必要がある。</p> <p>(3)話し合いの問題解決の方法や主発問と補助発問の組み立て、話し合いの収束の方法などを、さらに研究する必要がある。</p>
--	---



めざす子どもの姿
対話を通して思考を深め合うことができる子ども

対話：子ども達が自分の考えを伝え合ったり、共通点や相違点を話し合い、よりよい考えについて議論したりしながら思考を深めていくことととらえる。

(2) 研究の仮説

発問や助言を効果的に構成したり、リーダーを中心にしたグループや学級での対話の質を深めたりすることで、子どもたちの深い学びができるようになるであろう。

(3) 研究の重点

<p>①対話を通して思考を深める授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループや学級での対話の質を高める指導 ・学習リーダーへの指導の在り方 ・発問の分析による探求型授業への多様な試行 	<p>②基礎・基本の定着(井川メソッド)の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙力や計算力を付けるための効果的なカリキュラム検討 ・子どもの学習への意欲の持続や向上を図る指導方法の研究と実践 	<p>③教科や教師の特性を生かした効果的なTTの在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力をためる効果的なALTの活用の在り方(外国語活動) ・多様な学習集団の編成によるTTでの授業づくり(理科)
<p>全学年</p>	<p>1～4年生</p>	<p>5, 6年生</p>

(4) 対話を支える基盤づくり

- ・基本的な学習習慣の確立(身に付けさせたい学習習慣一覧を活用した共通実践)
- ・話し方・聞き方のルールを徹底

(5) 研究会

- ・事前・事後研究会の在り方と授業参観方法の再検討
- ・日常の授業実践を交流する研修会の実施

(6) 研究の検証

- ・諸調査(学力・学習状況調査等)
- ・学習・生活アンケート(教師と児童の比較)
- ・授業研究会
- ・授業中の子どもの発言やノート(自分の考えや振り返り)